

第538回番組審議会報告

開催日 : 令和7年6月25日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長／中村 出 委員／齋藤義紀 委員 佐藤善哉 委員／岡崎彌門 委員
リポート参加: 相馬佳苗 副委員長／黒川和久 委員
議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率関連 後藤 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長
2. 報道・制作関連 黒須 取締役メディア情報局長
3. 番組合評

◇ ほっとネットとうほく

「もう限界、～移転に揺れる集落の行先～」

令和7年3月22日(土) 午後2:00～2:55 放送

担当: メディア情報センター ニュース担当部長 秋葉 和弘

◎その他

内容: 山形テレビの第538回番組審議会が開かれ、ほっとネットとうほく「もう限界、～移転に揺れる集落の行先～」を合評しました。

去年7月、山形県の庄内、最上地域を襲った大雨。3人が犠牲となり多方面にも甚大な被害が及びました。近くを最上川が流れる戸沢村蔵岡地区では、これまで幾度となく大雨による浸水被害に見舞われ、集落を堤防で囲む輪中堤など万全の対策をとってきたはずでした。しかし今回、再び水に浸かったことを受け、村は集落をまるごと別の場所に移す「防災集団移転」に向かって舵を切り始めました。移転に揺れる集落、そして故郷を思う住民の感情に迫りました。

委員からは、

「昨年夏の洪水で泥が入り込んだ住宅の様子は、被害のひどさが視覚的に伝わってきた。」

「取材先と信頼関係を築いて、しっかり取材していたことは高く評価できる。」

「蔵岡地区の洪水発生のメカニズムは映像で分かりやすく伝えていた。一方で、『輪中堤』については説明が不十分だったように思う。高さや全長といったデータも知りたいと思った。」

「番組に登場するのはほとんど年配の男性だったのは気になった。女性や若者がどう思っているのか、現状をどう受け止めているのか伝えられると良かった。」

「今後の防災についても深掘りすると、その土地が今後どうなっていくか展望しやすいと思った。」

「故郷を離れなければならないという決断のシーンは、胸に迫ってくるものがあった。」

「お祭りの際は、皆さんで準備してランタンを飛ばし、笑顔も見られた。コミュニティーの強さを感じるとともに、コミュニティーにとってお祭りは大事な要素だと感じた。」

「番組タイトルの『もう限界』というのが大変暗くて悲壮感が漂うので、もう少し上向きのベクトルが感じられるものにした方が良かった。」

などの意見が出されました。

以上